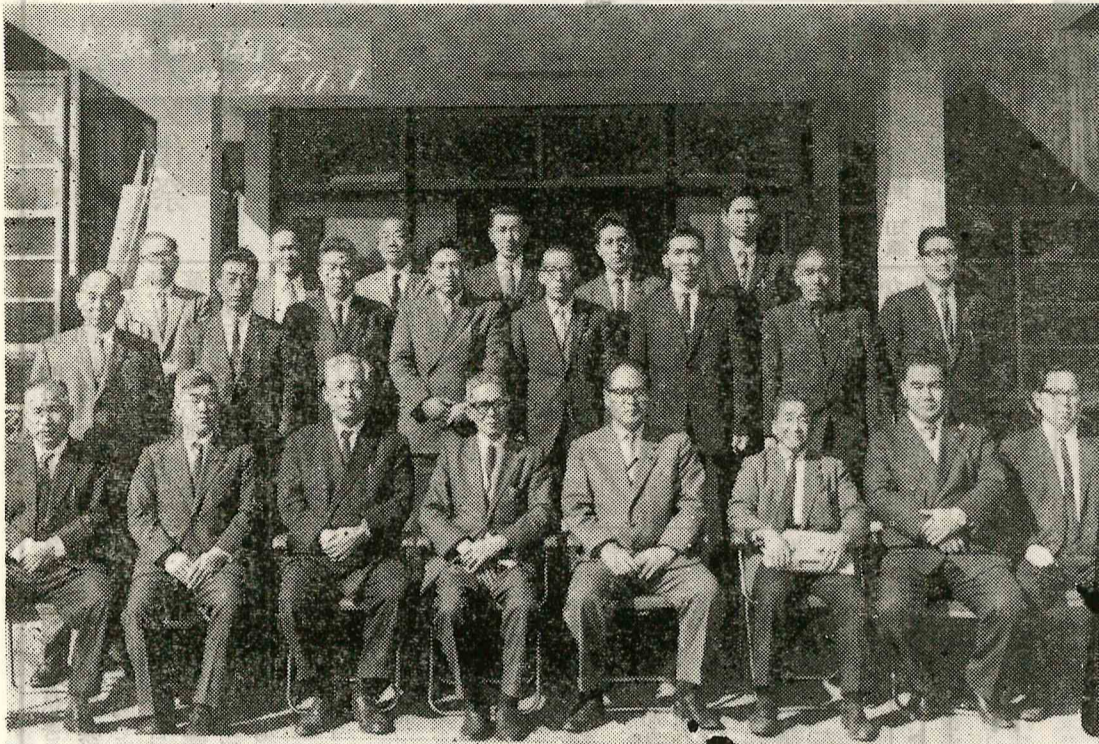


発行所 大熊町公民館
電話(大野)65番
編集責任者 吉田農夫雄
印刷所 加納活版所
電話平(4)2409番

館報 おおくま

◎火災の季節です。火の元にじゆうぶん注意しましょう
◎車は日毎にふえてきます。お互交通規約を守って、事故を起さないよう注意しましょう
◎寒くなるにつれて風邪が流行します。健康に注意しましょう。

躍動と前進のために



改選初の町議会開く

正副議長に西村、鈴木氏
議会選出監査委員に半谷氏

十月二十一日町議会議員一般選挙によって八千人町民の厳正な審判がくだり、町議会議員十六名が新に誕生した。今後四年間の町政は、その良識と情熱にゆだねられることになったのである。

満場一致で西村議長
鈴木副議長を選出

臨時議会はまず事務局長が、町長の招集の挨拶があつて開年長議員を紹介し最年長の半谷重一氏を議長に選出するに決めた。その後、西村正氏が議長に当選された。鈴木一雄氏が副議長に当選された。満場一致で選出された。

改選された新議員

前列左より……石田真宗、山田幸太郎、町長 西村正、鈴木一雄
半谷重一、吉田収 収入役
中段左より……本田亘、吉岡光雄、松本六郎、渡部悟、金沢頭吉
太田芳一郎、宗像勲、事務局長、
後段左より……総務課長、助 役、教育長 井手昇、常盤忠重、
荒岡正一、各議員

大熊町議会議員名簿

Table with columns: 議員名, 住所, 備考. Lists 16 council members with their addresses and roles like 議長, 副議長, etc.

初議会

【第五回臨時会】
十六議案を審議可決

- 選挙第一号 議長選挙について
選挙第二号 副議長選挙について
選挙第三号 大熊町議会委員会条例の一部を改正する条例
選挙第四号 常任委員並びに委員長、副委員長選任について
選挙第五号 双葉地方環境衛生処理組合議員選任について
選挙第六号 富岡町外三町衛生処理組合議員選任について
選挙第七号 大熊町外二ヶ町村伝染病隔離病舎組合議員選任について
選挙第八号 大熊町選挙管理委員並びに同補充員選任について
選挙第九号 大熊町都市計画審議会委員選任について
選挙第十号 大熊町町営住宅入居者選考委員選任について

各組合議員

- 双葉地方環境衛生組合議員
・石田真宗
・吉田収
富岡町外三町衛生処理組合議員
・宗像勲
・渡部悟
大熊町外二ヶ町村伝染病隔離病舎組合議員
・吉井 尚出
・岡出 光雄

選挙管理委員並びに同補充員

- 選挙管理委員(いずれも再選)
武内 宗留 一男朗義
大太 武田 四員
同補充員
1 志賀 兵一好重
2 横川 賀郎男明
3 関本 好重
4 富田 重

都市計画審議会委員五名を選考

- 1 西村 正収 一郎重
2 吉田 正太
3 荒山 幸志
4 常盤 忠
5 田 盤

議会推薦の各委員

- 1 町営住宅入居者選考委員 一郎収
荒岡 正六
松吉 本田
2 公民館運営審議会委員 重 健 吉 雄
3 社会教育委員 健 一
4 体育指導委員 鈴木 一

教育委員会便り

◎大野中学校
大野中学校のピアノは破損し、音律も不調で、教育上支障を来していました。この度、時価七〇万円で購入した優秀な楽器を購入し、音楽教育に新風をまきおこすとして、生徒はもとより、先生父兄も大喜びです。これは町民からの寄附金と町費とによってまかなわれたものです。

大野小学校

大野小学校に新しい便所と給食室の改造をいたしました。この度完成しました。多北校舎に便所がなく、四教室の児童が不便を感じていました。八月中旬に完成して利用しています。

熊町小学校

熊町小学校の改築は以前からの要望でしたが、業者から見積書を出させて検討してあります。町の予算とにらみ合せて、御要望にこたえたいと思っております。

熊町中学校

理工科室の改築は以前からの要望でしたが、業者から見積書を出させて検討してあります。町の予算とにらみ合せて、御要望にこたえたいと思っております。

常任委員会名簿

- 委員長 山田 幸太郎
副委員長 金沢 健吉
委員 宗像 勲
委員 井出 昇
委員 吉田 収
委員 西村 正

議員の選任について

- 副委員長 松本 六郎
委員 荒岡 正一
委員 吉岡 光雄
委員 石田 真宗

文庫厚生委員会

- 委員長 本田 亘
副委員長 太田 芳一郎
委員 半谷 重一
委員 渡部 悟

経済土木常任委員会

- 委員長 常盤 忠重
委員 鈴木 一雄



大成果を収めた

双葉高第1回農業文化祭

参加レポートより

郡内唯一の農業高校である本町の双葉農業高等学校では、県下に誇る屋内体育館完成を記念して菊花かおる十一月二・三日の両日第一回農業文化祭が同校を会場として催された。

幸い好天に恵まれたため、時代の先端を行く農機具の展示生徒の学習成果の発表と共にオリンピックを目指す日大の体操選手男女十名の招致は、参加者の出足を盛り上げ、誠に盛大であった。

以下私に見て歩く記をのべて見よう。 郡下小中学校生徒の手による図画、書道展さすかに選ばれた作品見事なものばかり。盆栽、盆花展、よく手入れされたものと驚く。一本二万円以上の松の木もあり二度ビ



双葉農業高校家政科の部展示会場

自慢展、門外不出の宝物、よくぞ御協力されたものと感銘いたした次第、嶺山人の掛軸、応挙、文兆の絵、李白や蘇東波の書、その他刀剣類、家宝といえ、あるところにはあるものと感嘆しはし。 又江戸時代の医療薬器類は特に珍らしく拝見した。

生徒による生花展は二十点の小数ではあったが、新時代の流儀をよく取入れ実に見てたえのあるものばかり。 短時日の間に和裁展では浴衣から、ウールの着物、羽織の類は数十点を越えていた。手芸展はくろくろはだじで日本人形、フランス人形、レニス編、文化刺しゅう、毛立類等見事な出来はえて、日本人形等五千円以上の作品のものもあつた。洋裁展は子供物から、大人物まであらゆる種類、スーツ等も多く出ていた。即売品は実費でよく出来ていたので一日目で半分は売れ、二日目は殆ど売りがつきた。

生活文化展、これは女性には是非見たいだったというものがあつた。普通食、病人食、幼児食、離乳食、幼児の運動による発育段階、知識を高めて行く玩具等百聞一見にしかずの教育の場でもあつた。

和服の手入 和服の手入れでいちばん大切なことは、一回着たたびに手入れをすることです。帰宅したらすぐ腕いで衣紋掛けなどにつけて湿気を蒸発させます。二、三日続けて着るからおおむね半乾き程度にしておきましょう。油シミも水では落ちにくくなります。

食事は完切れて昼食ぬきの人もいた。校庭では和牛共進会並に農機具の展示会等とこれ又一ぱいの入出、第二日目はオリンピック選手の遠藤選手は体の不調で金メダルの早田選手が代って来たが、男六人女四人、いづれの方々の演技も実に見事で一同かたすをのんで見守るだけだった。 一日目は体育館で生徒の民謡踊、合唱、エレキバンドの新しいところをみせたり、とにかく大熊町始まって以来の人の車に列には八人の警官でもさばききれない程で、町の人々も大いに驚いていた。



出はじめた「なめこ」

大豊作に活気を

「なめこ」栽培

「なめこ」栽培の現状 現在は毎日平均七、八十キロ採取し十月末までに五百キロを出荷、一本の「ホダ木」から十三キロを採取し二人でやっとなめこという嬉しい悲鳴を聞いたが、この粟粒が日を追う毎に出荷につながらるのだからと思うと、組合員の顔が白からほころぶのも当然と感

加工トマトの

反省について

農協 営農相談室

大熊町に加工トマトの契約栽培が取入れられてから早や四年目！ 会社（キッコー食品）や指導機関の適切な指導援助に親戚の涙ぐましい努力により、その組織も出来上り計画通りの成績をあげ、去る十月十九日に出荷を終了した。

Table with 2 columns: Item, Amount. Total sales 157 tons, average yield 10,800 yen, etc.

大熊町の作付面積僅か二町歩、二六名であったが今年で漸く自信がつき安定し、明年の増反新規栽培の申込みが多

く部毎に講習指導会を開いてるので、どうかふるって御相談下さい。 ◎いくら利益があるか？ (本年大熊反平均) 収入 一〇八、八〇〇円

を植付け生産増強を図るとの事、来年以降が見込みのであろう。 現在の出荷先は東京で、葛飾丸井の青果市場及び住原市場にトラック輸送、このため朝六時から夜十時まで採取、選別袋詰、荷造りと目のまわりそがしき、入浴をしない日もある始末で女の方には過重労働とも思われる。

双葉郡一の 登録牛！！

仔牛 驚異的な 高値で販売される

十月の富岡畜産市場で、定期的に行われる和牛登録検査で次の人々がそれぞれ飼養している牝牛を、りっぱに育成して次の様な点数を獲得した。(九月登録検査)

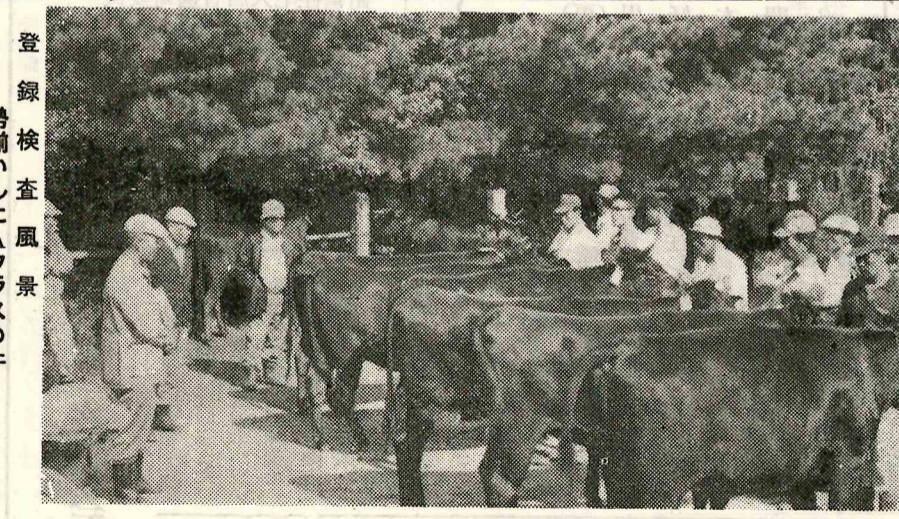
- 七・八・五 横川 一蔵
七・八・五 小野出俊英
七・八・五 小野出俊英
七・八・五 小野出俊英

この崇高な心掛、そして強固な組合員の団結と、生産に對する意欲と愛情の発露があればこそ、中屋敷のなめこ栽培は町の特産物として大成するであらう。 組合員各位の健闘を切に祈りつつ、深く行く奥山の秋に別れを告げた。 編集委員 菅野 ミヨ



肉牛と水牛

農業構造改善事業が町産業課で着々計画がすすみ、又沢地区の広大な改良草地に大型機械で、時きつけられた牧草の種子が芽生え始め、又繁殖育成センター事業が着工された時、双葉牛の代表として



登録検査風景 勢揃いしたAクラスの牛

◇上手にしかろう◇ しかるべきは、いましめてまがりをなほすことですから、しかるべきに腹を立てはいけません。思いつくままにしかつたのでは目的がはっきりしないので、子供に意志が通じません。そうかといつて理詰めについても冷たい印象を与えてしまいます。 (1)いつてきかせる (2)やってみせる (3)やらせてみる (4)まがりがなおり上手にしたらほめるーこれが必要

第五回郡総合体育大会で

大熊町二度目の優勝

相撲、柔道、剣道、銃剣術何れも優勝

郡内各町村社会体育の対抗試合であり、祭典でもある郡総合体育大会は戦後復活されてから今年で第五回大会を迎えた。

毎年九月二十三日(秋分の日)実施と定められていたが今年度は収束期の雨天続きその他の事情のため中止、復活と二転三転したため十月十五日に決行とす。双葉高校を会場に開催された。

町内においても選手陣の編成が手一杯で練習の時も各部門毎に選手自身の練習に努め、方法が異なるが練習の熱意は相手を同じであり、自分も同じ。



昔の発育状況を点検する若妻学級生

い時は相手、苦しいのだ。勝敗は常に勝利を信じて全力を傾ける者の上に輝くのだ。と勇躍して出場、奮闘の結果総合優勝の栄冠を獲得した。

また、体育指導委員長の鈴木一雄氏、同副委員長の渡部恒氏は町会議員として立候補が決定しており、更に十月十四日は告示日であったが終始出席して指導にあたりその責任の重さに出場員一同感激し志気を奮いたした。

陸上競技二位に進出

陸上競技陣は、渡部スズ子、渡部一秀、小野田正秋、大内章、その他全選手陣大活躍して郡内第三位に進出した。

各種目次の通り。

- 男子** 百米三位 小林守男
 二百米一位 渡部スズ子
 四百米二位 田熊清
 八百米二位 渡部一秀
 関根真司、渡部一秀
 小林守雄 渡部志
 小森守雄 渡部一秀
- 女子** 四百米一位 志賀恵子、新妻カチ子、広島安子
- 男子** 千五百米四位 加井勝
 男子一萬米一位 小野田正秋
 砲丸投 一位 大内章
 男子走中跳三位 奥山征一
 女子走中跳四位 新妻カチ
 男子走高跳三位 関根真司
 女子走高跳二位 渡部妙子
 相撲圧倒的勝利に終る
- 相撲陣営には、池沢孝吉、池沢剛夫の二兄弟選手と武内政幸選手が出場し圧倒的に他町村を倒して優勝した。

銃剣道陣早くも気をはく

吉田義貞、鈴木勉、末永淳の銃剣道陣は猛突につく猛突をもちいち早く優勝し他部門の志気を高揚した。

郡内に誇る若手剣士陣

剣道部は、田沢憲郎、坂上信行、鈴木貞夫の和久が生んだ郡内に誇る若手剣士陣、門下出の若手剣士陣、一刀一撃水もたまたぬ剣のさえを以て優勝をかきとった。

柔道大熊の名を確定

横山憲夫、高橋直樹、両強豪に新たに東電の新鋭、黒田政明選手を加えた柔道部は今年もまた郡内を圧して優勝し柔道大熊の名を確定的にした。

卓球部惜敗す

今年度から加えられた卓球も役員若手職員チームが出場したが惜しくも敗退した。

男子バレーボール

男子バレーボール陣は今年度も役員若手職員チームが出場したが惜しくも敗退した。

若妻学級のグループ活動

ナメコ、ヒラタケ栽培

▲生涯を中心とした学習の中から

家庭と子供を見守りながら、時期的に無理のない現金収入の道はないものか、と話し合い学習により学級のグループ活動の一つとして十数人が意を固めて取組んだのがナメコ、ヒラタケ栽培。時は二月。

▲試験の段階は先ず成功はやりものには飛び付く。などの言葉に気兼ねしてか、立場が立場であるためか、今年試験の程度に止めよう

▲生涯を中心とした学習の中から

家庭と子供を見守りながら、時期的に無理のない現金収入の道はないものか、と話し合い学習により学級のグループ活動の一つとして十数人が意を固めて取組んだのがナメコ、ヒラタケ栽培。時は二月。

▲試験の段階は先ず成功はやりものには飛び付く。などの言葉に気兼ねしてか、立場が立場であるためか、今年試験の程度に止めよう



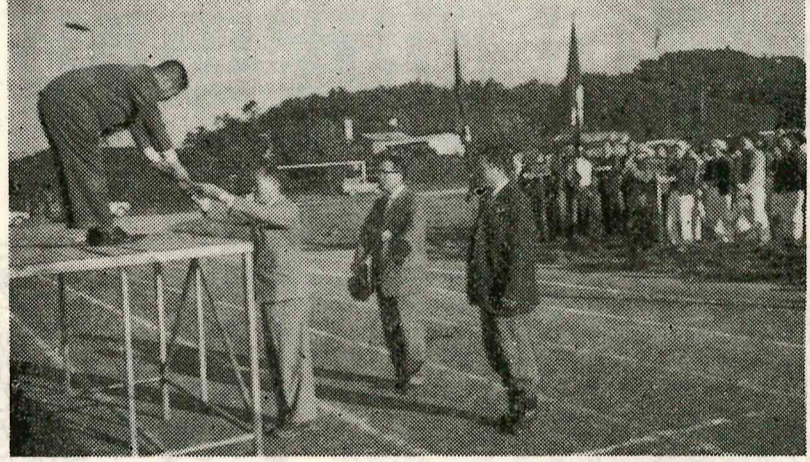
取り組んでいる。

青い若芽は是非伸ばしたいやん。と自らは小さな心も学習の中から生涯の表裏に意欲とグループ活動は若い方々にとっては誠意溢れる価値の高いものと思つてやうとする学ぼうとするキッカケを作り与える事芽ばえた青い若芽は常によく見守り、雑草を取除きながらすくすくと伸ばし美らにさせる事こそ若人教育後継者対策、即ち人造りに連なるものではないだろうか、私達先輩の立場としてかくありたいと望みます。

明日の住み良い地域作りのために。 愛場 仁

戊辰戦争

町史資料蒐集委員 薬王寺台



郡体育大会で優勝旗及賞状を受領する鈴木一雄総監督以下の代表

ある内容は出席率を高める為魅力あるものとしてPTAを主体に一ヶ所に会し学級を実施する予定。

▲成人学級

時代の動きと特質、生活をとりまいていふ環境について研究し、家づくり地域づくりについで判断力を高めるため十一月下旬から十二月上旬に定員五十名として開講する予定

▲高令者学級

定員五十名として十一月下旬開講する予定で高令者であるので血圧測定やら内外の情勢の動き、郷土の歴史等盛況に楽しい学習の運営を計画している。

▲青年学級・若妻学級

長雨にたたられ農作業もびのびとなり、学級も開講出来ないままになってしまったが仕事も一段落ついたので十一月二十八日簡易裁判所の説明会が開催されるのを好期とし裁判官を講師として交通戦争時代にむかひの事故保障に関する事項並に家庭の法律について学級を開講する予定である。

▲若妻学級グループ活動の一貫として昔栽培をして好成绩をあげているが過日原町市でスライド会が催されグループで現地研修を行った。

尼子橋

相馬藩内部隊の徒士組は乱軍のなかにしんがりをつとめて奮戦し特に平谷源右衛門門馬之助、竹村新、大越基五衛門などが健闘する間に軍目付、富田彦太輔、小隊長武野半兵衛などの指図のもとに石田重三郎、木幡蔵記をはじめ中田村の井戸川恭助らに大砲方におつた羽鳥村の中里勉、山田村の渡部五左衛門らは踏み留まって新屋口番所西北方薬王寺台(松ヶ岡公園)にたどりつき、中ノ郷の郷士から編成された小畑又兵衛小隊や富田重之丞の農民小隊もまた陣地にたどりつきました。何しろ縁すれすれから秩序もなにもありません。輜重奉行の池田喜左衛門も第一線の指図にあたり輜重方の大浦岡之丞等も身を挺して戦いました。

一方高坂村方面を退った味方が大館山に踏みこみ、大館城内からも応援兵が駆けつけ、尼子橋一ヶ所を距ててやうと敵を喰いとめました。

ときに平城の鐘樓の鐘が未の刻(午後七時)を報じて長く余韻をのこしました。

味方の態勢がよくなるにつれて、尼子橋むかいの民家よりほかにさいぎる物のない西軍の損害が統出し退却の色がみえてきました。

ますます勇気つけられて奮戦する味方の銃砲声のこだまするなかに暮色かしのびより大波の引く様に敵は湯長谷をさして引きあげました。

奥州軍にとって悪夢の様な狂乱の一日が終ったのです。

学級だより

▲家庭教育学級は農閑期を利用して五〇名として実施する計画で十一月下旬頃一学級定員



球技大会=家庭バレーボール=駅前、大川原両チームの決勝戦

第一回

大熊町球技大会開催

10月10日(国民体育の日)

を期して町長杯をかけた球技大会開催を決定して今年度は第一回大会、野球、卓球、家庭バレーボールの三種目にあつて町をあげての熱戦がくりひろげられた。

成績次の通り。

◆野球 優勝 前田組チーム
 準優勝 スパーク

◆家庭バレーボール 優勝 駅前組人チーム
 準優勝 大川原組人チーム

◆卓球 優勝 郵便局チーム
 準優勝 役員チーム

◆卓球個人優勝 男子 大和田武夫
 女子 柳沼彰子

仙台兵は番所前通りの一筋道に散開し、平藩の龜山秀五郎の率いる砲隊も急ぎ尼子橋にわたり砲を撃ちました。急追して来た敵はもう橋向いの山にあらわれて新屋口番所を眼下に打ちおろしたため番所を守っていた平藩の農民五十六名がまたたくまに死傷してしまいました。

町民の広場

本欄には投書 会合 ちまたの声を主にのせました

敬老の日に「思う」

一年に一回、楽しみに待っている。たつた一日、若い人々を慕うには余りにも意義深い敬老の日である。

九月十四日、本町では今年も大中体育館でその行事に誠意を尽し、その労を敬った。

私も招待の御礼に一芸を披露したのだが、つい出演せすに終わった。己れの勇気の弱さを恥らいつく強く反省しております。

ところで敬老会に参加した老人の感想を中心に来年に對するアイデアを申し述べて見たらと思ひます。

「老人はなんといつても町内の人達と一しよになつて遊ぶことが何よりの楽しみだ。講演も短時間ならよいが一時間以上は無理だ。演説は素人がおもしろい」成程、若い人達の欲求の様子がします。

老人には目の薄い人、耳の遠い人が全部といつて、位だ。今年の演説では三昧の音や近年には珍らしい舞踊が入つたとなつて老人を喜ばせていたが来年は一般町民にも呼びかけて、もっと喜ばせる等の努力を望みます。なお老人達がその場の車座から司会を通してマイクで流す工夫もまた楽しみの一つになるのではないでしようか。

人生の道すがら
(大和田武夫)

町政の転換期か？

町議選 雑感

10月14日に告示されて以来一週間にわたつて新旧入り乱れ21名の立候補者が町内を選挙戦一色に塗り代えた。審判が21日午後九時三十分町民選挙のうちに下された。

この日、開票場につめかけた開票参観者五百数十人、開票の結果を見守る町民の熱気は当日の開票場である大中体育館を圧した。

そして今次の選挙から感じた私の感想は次の諸点であった。

◎五百数十人に及ぶ参観者の秩序ある態度に町政對しての町民の熱意がヒシヒシと身に迫る思いがした。

◎選挙結果についてはいろいろと内外の批判もあり私達町民としても一層反省しなければならぬ点もあると思つたが、半数に近い七名に及ぶ新議員の進出は町民が町政の転換と推進を待望する意志のあらわれである事を見のがす事が出来ないう。

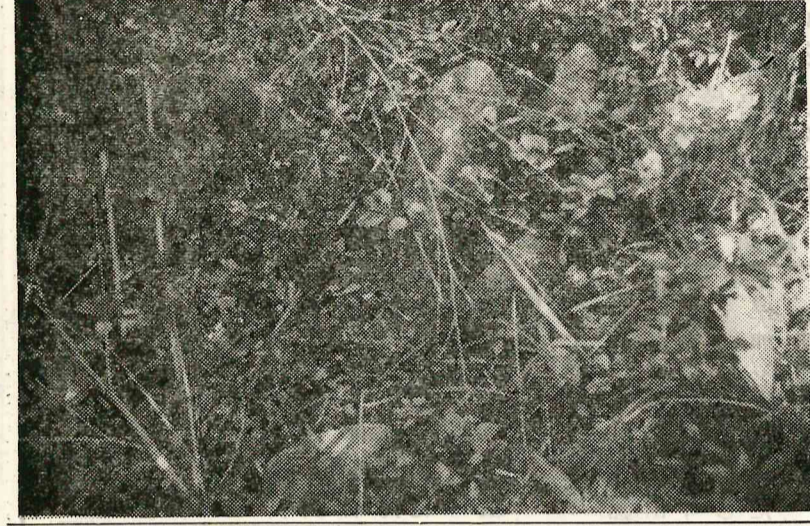
◎ともあれ、議員の任期は四年、約千五百日間にわたる。私達は今無言のうち町政の刷新の胎動を感じ、新議員の活躍の活躍をいひの氣持一杯である。

「良識選挙民」

いしから隣地は開田されて、いつの墓石が分るかわからない運命にある。現に十年前に元禄十四年の墓石は誰かに持ち去られ、明和の墓石一つしか印刻されたものはない。

野上千年の文化を伝える唯一のこの史蹟を保存する責任は一体誰にあるのか。町が教育委員会か、公民館か、何れにしても町に文化指定を考へるお偉方はないか。

(一知識人)



成人教育は必要だ。私は常に成人教育の必要性について考へている一人だ。今、わが国の先生も生徒も自分の本分をキチンとわきまえているのだろうか。

子供のためならすべて犠牲にして教育に熱心な親達であるのに最近の大学における騒ぎは実に目に余るものがある。自分の学舎を離れてどうして大騒ぎをしなければならぬのか全く不思議です。政治上の誤りは政治自体が改めるでしようか……。

学生なら先ず学業に励むこと。なければ凡そ社会は歓迎しないでしょう。

又現代の先生については人事院勧告が完全実施しないためすべての職場がストを放棄しているのに違法と知りながら抗議集会に身を移すとは何たることか！人を導くには自分模範を示さなければなりません。こんな教育者の成果がどんな形に表れることや写真は如來寺の遺跡

趣味から生命を救おう!!

待ちに待った解禁なのでしようが鳥類と共に死を覚悟せねばならない昨今の生活であるうとは予想もしていません。

稲の穂にかかるスズメ追いのオドカシ砲に悩まされてホッとして息をく問もなく、今度は生命にかかわる銃銃の爆音と危険の連日が続くと思つたままに、この町からは絶対にたまたまない程悲しくなつてきます。

今までの悩みは百姓さんの生活を賭けた泥まみれのあの姿を思い浮かべただけで理解も我慢もできませんでした。

ただ11月1日から始まったのはオドカシ砲どころか発砲した散弾が障子を破り家の中まで打ち込まれるのだからそれこそ身の伏せ場所がなくなりました。

ハンター達の常識がこの様なものは疑いなくが現実

の問題である限り非常識という外はありません。

趣味は趣味でも人間社会の安全を破壊する疑りかたはハンター同志のキツイ反省と趣味に対する研究から全体の楽しみにしなければならぬと思ひます。

あちこちの事件で新聞、テレビ等は警告を連日連発しております。この町からは絶対に事件を発生しない様、私たちがハンター族も注意しようではありませんか。(人間)

新議員で
新風会を結成

去る町議選で七人の新人が当選した。

この新人町議の主力は早速新風会を結成して明るい町づくりに努力することである。

その趣旨によると一停滯してはいつもの21名の立候補部分が、お互に注意すれば、未然に防げた火災であります。

(大野駐在所)

秋の行楽期は安全運転から出発いたしましよ。

- 一、ドラフ計画は安全第一に
- 二、十分な睡眠を
- 三、車の整備をお忘れなく
- 四、乗車定員を守つて
- 五、運転中はけしきに見はれない
- 六、酒は絶対禁物

(大野駐在所)

補者から11名までも演説会への参加に同意させた実績は高く買いたいものだ。然しこのことが新らしく選ばれた16議員によってどんな活躍に現われることやら……(有権者)

火災のシーズンです
火に気をつけましよう

富岡警察署管内四町一か村の昭和三九年度から昭和四一年度の三年間に発生した小火を含む火災を、家屋と山村に区分して調べたところ次の通りです。

原因	年度	件数
煙突の加熱	昭和三九年度	39 41
煙突の加熱	昭和四〇年度	14 21
煙突の加熱	昭和四一年度	5 10
煙突の加熱	昭和三九年度	3 12
煙突の加熱	昭和四〇年度	2 10
煙突の加熱	昭和四一年度	2 3
電熱器の加熱	昭和三九年度	1 30
電熱器の加熱	昭和四〇年度	1 3
電熱器の加熱	昭和四一年度	0 3
風呂湯の火の不始末	昭和三九年度	0 33
風呂湯の火の不始末	昭和四〇年度	0 20
風呂湯の火の不始末	昭和四一年度	0 10
ストーブの不始末	昭和三九年度	0 10
ストーブの不始末	昭和四〇年度	0 10
ストーブの不始末	昭和四一年度	0 10
コンロからの飛火	昭和三九年度	0 10
コンロからの飛火	昭和四〇年度	0 10
コンロからの飛火	昭和四一年度	0 10
コンロの不始末	昭和三九年度	0 10
コンロの不始末	昭和四〇年度	0 10
コンロの不始末	昭和四一年度	0 10
煙突の飛火	昭和三九年度	0 10
煙突の飛火	昭和四〇年度	0 10
煙突の飛火	昭和四一年度	0 10
モーターの加熱	昭和三九年度	0 10
モーターの加熱	昭和四〇年度	0 10
モーターの加熱	昭和四一年度	0 10
原因不明	昭和三九年度	0 10
原因不明	昭和四〇年度	0 10
原因不明	昭和四一年度	0 10
山林	昭和三九年度	10 15
山林	昭和四〇年度	6 9
山林	昭和四一年度	1 4
たき火の不始末	昭和三九年度	1 4
たき火の不始末	昭和四〇年度	1 2
たき火の不始末	昭和四一年度	1 2
子供の弄火	昭和三九年度	1 2
子供の弄火	昭和四〇年度	1 0
子供の弄火	昭和四一年度	1 0
汽車の飛火	昭和三九年度	1 30
汽車の飛火	昭和四〇年度	0 1
汽車の飛火	昭和四一年度	0 1
煙突の飛火	昭和三九年度	0 1
煙突の飛火	昭和四〇年度	0 1
煙突の飛火	昭和四一年度	0 1

このように出火の原因の大部分が、お互に注意すれば、未然に防げた火災であります。

(大野駐在所)

タカトオロシのいわれ

夜森駅の西方に高津戸という旧城跡がある。それは高津戸氏の居城であった。

その頃奥羽は安倍員任の勢力範囲であり、高津戸氏は安倍氏に攻められた。しかし衆寡敵するはずもなく、二十三日の宵にまぎれて、城を逃げることにきまつた。最後の晩さんに餅をつき腹ごしらえをすることにした。何かつけるものがないので大根おろしをつつて餅を丸め、大至急腹につめて逃げのびた。これ以来大根おろしをタカト(タカト)がつまつた。オロシというようになった。

ちなみに、その時一つがいの金の二ワトリを井戸に投げ去つた。心ある人々が昭和の時代になって井戸を掘り出したが、二ワトリまでは届かなかつた。

(沢原善之助氏談)

町議選をかえりみて

一村の話から

一、二の番のむせはあつたが、おちつく所におちついた感じですか(店の主人)

・今度の選挙は町長選挙以上のはなやかな選挙でした。ビラはきまやかにばられるし、毎日応援演説はぶたれたらどうしよう。(街の人)

・街頭演説はどただけの効果があるだろう。誰も聞いていないのが実状じゃないか。とくに町はやかましくして任方ない。もつと落ちついて考へる選挙にしてもらいたいね。(老婦)

・選挙演説は草々自分の所信を發表してもいい。他候補をいぼつするのを聞かぬ。(五十才の婦人)

・選挙のビラは町のすみずみまでばられた。色とりどりの賑やかさであった。しかし選挙が終ると、またたいて間に撤去された。さすがに町議に立候補する人たちは良識があるね(五十才男)

・随分賑やかな選挙が行われたよ。しかし何か上ずべりて我々の生活に密着していない感じだ。

(二十才の男)

候補者から

ひとがせつかく政見を披露しているのに、二人の婦人がベチャクチャ話して笑つてつながるのと思つて、一時に怒りがこみあげてきて演説をやめて一かつしてやりたい感情にかられた。

(A)

・ボン友のM候補がひとの軒下まで来て票を集めた。人情も仁義もありはしない。まさに戦国時代の群雄割拠弱肉強食のあさましい姿である。

(B)

・カカアは〇〇からもらったヨメは野上からもつた。この次の選挙は種類の票だけで当選確実。

(考えた候補)

・私は最低で当選することは予想できた。しかし開票してみたら、予想より数十票多かった。この票一体誰がくれたらどう。(これはまた聞きである)数十票のは何十票だろう。よたれの出るような羨しい話である。

(C)

・私は部落から六割の票をもらったと確信している。

かけの声

(なあんだ。四割は親類なんだって。)

4年間の門出

新議員の抱負

去る10月21日、新議員の選挙を終り11月1日からいよいよ活動を開始したが、この欄では、新しく議員になられた方々の抱負をおききすることにした。

ごあいさつ

議長 西村 正

謹んで町民のみなさまに御挨拶申し上げます。十月二十一日の町議会議員選挙後の初...



11月1日初議会の状況

副議長就任あいさつ

鈴木 一雄

此の度の当選後初議会における副議長選挙に際し、満場一致指名推薦を以て不肖私が就任出来...

常盤 忠重

経済土木常任委員長

私の抱負の概要を申し上げます。東電原発の進出に伴い、当町もいよいよ陽光を見出した感を以て参りましたが、純...

荒岡 正一

経済土木常任委員

激しい選挙戦を勝抜いて三度議席を得たことを心ある町民各位に感謝申し上げます。

松本 六郎

経済土木常任副委員長

「初心不可忘」と選挙前某新聞の立候補予定者の抱負には何れの候補も道路の整備には非常な熱意をもっている道...

吉岡 光雄

経済土木常任委員

この度町民各位の私に寄せた御厚意は誠に厚く御礼申し上げます。今後は全力を投入致しまして私の公約にあげました健康で...

井手 昇

総務常任委員

一、道路 最近自動車が増えに伴い道路の破損が甚しく産業発展の基盤となる道路の整備は、現時下の急務である(都市計画...

出稼及び二三男対策の一環として公害の少ない工場を誘致する。

一、社会福祉 地域住民の健康管理確保のため大野病院の増設を早期実現(移転絶対反対)

一、社会福祉 社会保険制度の強化拡充特に老後保障の充実

一、町村合併 町民の意志を尊重道路学校等公共施設を整備してからも遅くない。

句 壇

猪狩 哲郎 選

豊の田風ふれ来てふとへ

志 賀 セ ヅ

盆掃除やたらに知りぬ三九郎

山 田 つ き

三九郎は鎌のことです。三九郎といふ言葉や、彌女をつけて、うまく使っています。盆掃除の情景がよく想像できます。

豊の穂や畦おるわれに朝日満つ

志 賀 り つ

これは豊年をかえた、労働讃歌です。朝日を浴びながら働かすかすがしさを。

宿題に日焼けのすねの長き子等

山 田 秀 子

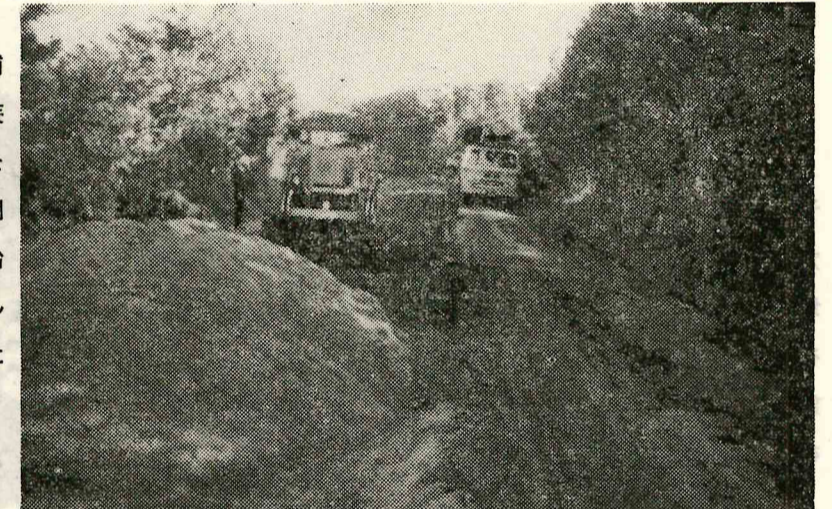
育ちかの子とわたしを見守る親の心づかいが良く出しています。ユーモラスなところから、やはり子供への期待は大いなのです。

敗戦忌、終戦記念日のことです。かつては英雄であった兵士の墓の空しさ、しかし感謝する気持ちはいっぱいです。もう戦争が二度とないよう祈りたいものです。

佐 久 間 信 子

兵士の碑金文字すれ敗戦忌

鋪装を開始した屋敷



鋪装を開始した屋敷

総務常任副委員長

金 沢 健 吉

この度町議に幸い当選の栄を得まして光栄の至りと感謝し町民の御期待にそつべく努力致したいと考へております。

文教、厚生常任委員

渡 部 悟

町政の近代化を計り町民全体が公平に町政の恩恵を受け清く正しく明るいカラス張りの町造りにつとめよう。

大熊町政に対する抱負

文教厚生常任委員長 本田 巨

町民の町政に対する批判能停滯する町政ムードを吹き飛ばし、健康で明るい町造りに全力を傾注し、基本的人権を尊重し、町民の生活を豊かにする。町の発展の原動力は次の四項につき。

- 一、都市計画に伴う道路の整備促進は、野上、小良ヶ浜線並に大川原駅前を通る道路網の拡張整備と舗装の実施に万全を期す。
- 一、上下水道の早期完成（43年度完成の予定）
- 一、県立大野病院の改築促進実現に全身全霊を打込んで邁進する。
- 一、学力人造り（進学路の開拓）

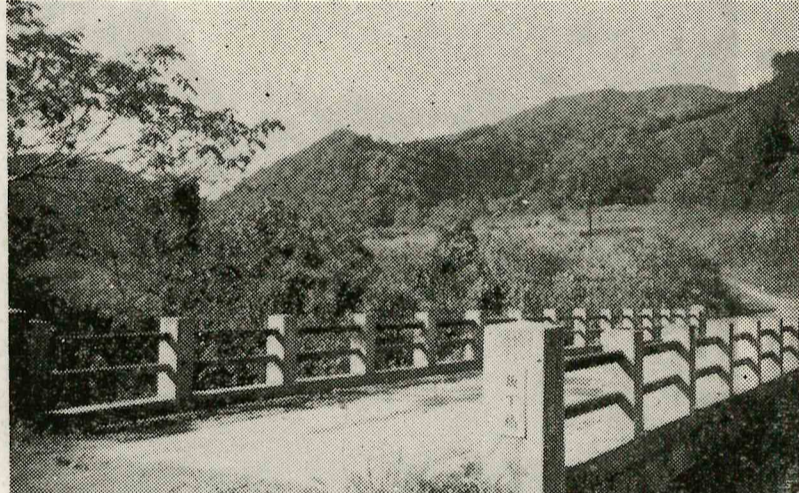
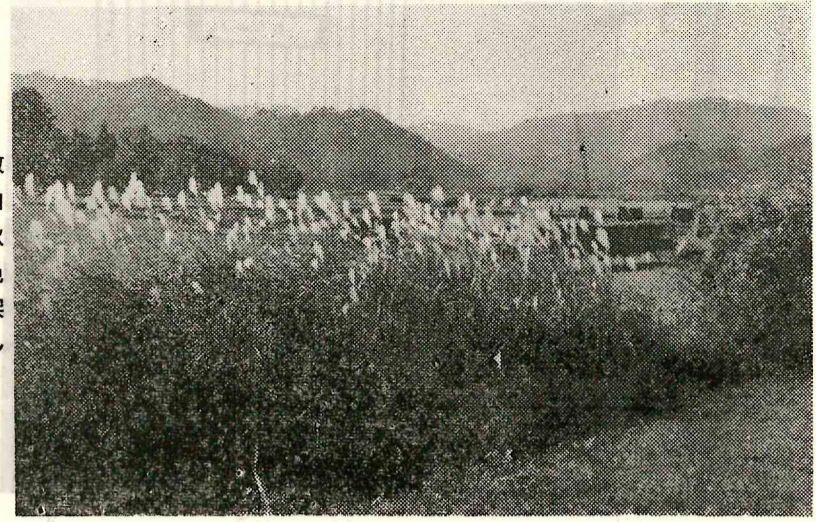
入道りは五年十年では完成できないが、教育行政に對しては、高校大学進學者に對する奨学金制度の実現、並に統合中学校の早期完成と諸教育施設の充実、小学校教育に對しては分校の廃止に伴い、遠距離通學者に對する対策を講じ教育施設に体力と学力の向上に對し、全力を盡し善処したい。

尚農業問題、社会福祉対策、町農道の整備等多々問題は山積されているが、着実な解決して理想郷の完成に努め、青年に夢を老人に楽しみをの現に邁進する考へてあります。

援で開かれます。土地、建物、金銭の貸し借り、離婚、親子関係、扶養、相続など家庭問題でお困りの方は、ご相談に際してのことになっていきますので、ご遠慮なくお越し下さい。

十一月二十八日午前十時から大熊町公民館で富岡調停協会主催福島調停協会連合会後

故山秋色深し



坂下橋から手倉ダム 予定地を望む

公民館報に対するアンケート

未提出の方は今からでも お願いします

館報に対する町民の皆様の反響を知らせていただきたいと思ひアンケートをとつてみました。選挙名簿から無作為抽出により六十部を出しました。現在集つたのは十一部しかありませんが、ごりあえず報告いたします。	1 広報	3
一、館報第四七号はいつごろお手許に配られましたか	2 町民の声	2
九月十五日頃	3 郷土史	1
九月二十日頃	4 全面	2
九月二十五日頃	5 報告なし	3
まだ届いていない	希望や意見	1
報告なし	1 町長から町民へ一言 (毎号)	1
二、あなたは館報を読んでいますか	2 郷土史紹介 (連載)	1
1 よく読んでいます	3 随筆一編くらい	1
2 一応読んでいます	4 町民の声や意見をのつとなくさん	1
3 あまり読まない	5 大熊町の写真を発表して欲しい	1
4 全然読んでいない	6 大熊町の歴史及びこれからの大熊町のあり方	1
0	7 農業のことについてもっと詳しく知りたい	1

ほめの言葉もありましたし、今まで一度も配布になつたことなしというのもありました。報告された方は男の方ばかりで、女の方からはまだ報告されていません。年令別でいうと、30代2人、40代1人、60代2人、70以上1人、不明4人となっています。

尚47号は9月14日各区分長さん方にお願ひし、アンケートは10月27日に出したものです。

郵便局より

○簡易保険 老後の安定した生活を送る小口で簡単な生命保険です。

○郵便貯金の使途について 郵便貯金は大蔵省資金運用部に集められ、財政投融資として、地方公共団体公庫公団等に流されます。大熊町にも年々七百万円程度の資金が融資されています。

○電話事業 去る十月八日富岡電話局の新設により市外即時化が実現されました。取扱者が新しい機械に不馴れなため、

大野局から富岡局に接続しても応答が遅く、皆さんに満足なサービスができず申し訳なく思います。この富岡の電話局に改善万端く申入れていますので、しばらくの間ご辛うお願ひいたします。

なお市外電話については一切富岡電話局で扱いますので、お問合せ、御要望、苦情は富岡局にお願ひします。市内電話や電話の移転申込み、譲渡等は従来通り当局で行います。

大熊町農協会館落成

大熊町農協会館は三戸余万円の予算と、大業者前田組の請負いで完成し、十一月五日盛大な落成式を挙げて、参列した人たちの間から二十年間の農協の力強い歩みと、変容する大熊町の姿に今更らに讃歎のさやが流れていた。

43年成人式

四十二年の成人式の日どりが十一月二十二日の運営審議会の答申をまつてきまれます。

投稿訂正

館報47号、第四面「相続問題」に関する「考察」の上から五段目、右から十六行目の「虫が」は「虫の」、同じく二十行目の「その」は「その」が正しいと考へて訂正いたします。同様に「その」は「その」が正しいと考へて訂正いたします。同様に「その」は「その」が正しいと考へて訂正いたします。

編集後記

○10月31日の編集会議に編集委員の任務について激論がなされた。結局原稿の取捨選択が問題になりました。しかし現実には原稿の取り扱いは大半を私にまかされています。

○公民館報に対するアンケートはまた集計されていませんが、中間報告の形で提出いたしました。非常に参考になりましたので未報告の方は、どうぞよろしくお願ひします。

投稿は大きい歓迎ですが、原稿の取扱いについては、編集会議できめましますので御一任いただきます。また返却できないことが多いので、その点悪しからず御了承願ひいたします。

○次号は1月上旬に発行の予定です。皆様からの投稿をお願ひします。